

(4)新左翼フントの歴史年表..... 1966~1968

● 1966年

- 1月18日早稲田大学費闘争、全学スト突入
- 1月×日電信反戦行動委員会—結成(電信共闘会議の改組)
- 3月21日青年医師連合(青医連)—結成大会(機関誌『青年医師』インターン制度廃止等方針)
- 3月21日社学同研究合宿(共産同統一委員会系)
- 3月×日機関紙「警鐘」—創刊(警鐘編集委員会・川島 豪、河北三男)
- 3月×日共産主義者の結集と統一をめざす全国会議—不成立  
(日本共産党(日本のこえ)+社会主義革新運動+社会主義統一有志会  
～志賀義雄・いいだもも・樋口篤三・吉川勇一・内藤知周・春日庄次郎、武藤一羊、栗原孝夫)
- 3月23日生田浩二(加藤明男・元第一次共産同)夫妻(在アメリカ)—死去(享年33)
- 3月26日東京都学連第15回臨時大会(法政大)
- 3月27日全国自治会代表者大会
- 3月×日共産主義者同盟(マルクス主義戦線派)第五回大会  
(「われわれは共産主義者同盟統一委員会との合同、全国単一共産主義者同盟再建の第一歩として、新たな革命的指導部の準備の具体的過程にはいなければならない」)
- 3月×日『長船社研の教訓と革命的マルクス主義者の道』(赤崎次郎)
- 4月26日公協企業体等労働組合(公労協)・交通共闘統一ストライキ(戦後最大の交通スト)
- 5月×日先駆シリーズ第1号『われらの対立 共産主義者同盟と日本共産党』(佐々木和雄)
- 5月4日共産同統一委員会第二回大会(議長—松本礼二、副議長—飛鳥浩次郎、書記長—松村三郎)  
総括報告提案—正木真一  
国際情勢報告提案—飛鳥浩次郎  
国内情勢報告提案—仏 徳二  
国内階級情勢報告提案—佐々木和雄  
一般任務方針提案—松村三郎  
組織方針提案—芦川達明  
ブント(黎明)との合同問題に関する特別報告提案—杉山明夫  
大会まとめ、結語—松本礼二  
「同盟は、共産主義者同盟の全国的確立、大ブント構想の一環としてマルクス主義戦線派との統一を推進する」
- 5月21日日本革共同(JR)第四回中央委員会—三分解・指導部の解体  
BL派(太田 竜)、ML主義研究会(織田 進)、社会主義通信編集委員会(酒井与七)に三分解
- 5月30日原子力潜水艦寄港抗議集会(横須賀)
- 6月9日『先駆シリーズ(2)世界革命の旗の下、日本社会主義革命へ前進しよう』  
(共産同統一委員会第2回大会報告決定集・先駆社)
- 6月15日『烽火』復刊1号(共産同統一委員会関西地方委員会)
- 6月11・12日医学連第十三回大会(委員長—木下信一郎、インターン闘争方針決定)
- 6月15日六・一五記念政治集会(主催・革共同全国委、共産同統一委員会、共産同マル戦派)
- 6月15日「プロレタリア日本革命の勝利をめざし新たな革命的指導部を建設するために—  
共産主義者同盟統一再建に関する声明」(杉村宗一・松本礼二)
- 6月19日三次防反対・教育二法反対全関西集会(円山野外音楽堂—主催・関西三府県学連4500名)
- 6月19日統一共産同盟—結成(平社学同の改組・機関誌紙『評議会革命』『現代革命』)
- 6月24日青医連・医学連、インターン制度廃止統一行動(90%が国家試験ボイコット)
- 6月29日THE BEATLES来日(30~7月2日武道館公演)
- 6月×日『マルクス主義戦線』14号(終刊)
- 7月×日第四インターナショナル中央書記局—結成(日本革共同「革命的分派」の分派・  
機関紙「第四インターナショナル」)
- 7月×日革共同革マル派第九回拡大政治組織局会議—「のりこえの立場」決定
- 7月14~17日全学連第二三回全国大会(革マル派系・委員長—成岡康治)
- 7月16・17日東京都学連第16回大会(明治大学記念館・委員長—山本浩司、書記長—吉羽 忠)
- 7月30日『プロレタリア独裁への道< I >』(共産同関西地方委員会・田原 芳)—発行

- 7月31日全国社学同結成集会(旧ML派多数派+社学同独立派+社学同関西地方委・委員長—高橋茂夫)
- 7月31~8月4日総評第三回大会—ベトナム反戦10・21ストライキ決定
- 8月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)全国代表者会議—「三者協議会」設置
- 8月11日ベトナム平和日米会議(ベ平連・東京)
- 8月17・18日革共同革マル派第2回大会
- 8月22日三里塚芝山連合空港反対同盟—結成(委員長—戸村一作)
- 8月26・27日社会主義学生同盟第二回全国大会(社学同統一派との合同決議・共産同マル戦派系)
- 9月1日「黎明」・5日「先駆」31号
  - 「日本階級闘争の前衛部隊=共産主義者同盟を先頭に前進を開始せよ！」
  - (共産同統一再建準備委員会)
  - \*赤崎次郎(山崎衛)、\*秋本道夫(望月彰)、泉 清二(石田寿一)
  - 河合一郎(山崎順一)、北田 肇(吉川駿)、杉村宗一(矢沢国光)
  - 藤井竹明(成島道官)、水沢史郎(服部信司)、\*仏 徳二(右田昌人)
  - 垂水俊介(中井正美)、松本礼二(高橋良彦)、正木真一(石井暎禧)
  - \*飛鳥浩次郎(佐藤浩一)、佐伯 武(佐野茂樹)、松村三郎(浦野正彦)
- 9月1日**共産主義者同盟再建第六回大会(書記局通達「プロレタリア通信」)**
  - 議長—松本礼二、副議長—飛鳥浩次郎、書記局=書記長—水沢史郎、
  - 書記次長—松村三郎、中央委員—佐々木和雄、北田 肇、高橋道郎
  - 秋本道夫(労対次長)、杉村宗一(「戦旗」編集長)、赤崎次郎(労対部長)、
  - 仏 徳二、正木真一、芦川達明、一向 健(学対部長)、藤井竹明(次長)、
  - 奥見 克(斉藤克彦)、他12名・
  - 「大会報告」執筆、I・水沢史郎、II~V・不明
- 9月3日日本社青同東京地本第七回大会(流会・第四インター、解放派と社会主義協会の対立激化)
- 9月14日全都学生討論集会(明治大・社学同統一再建実行委員会)
  - (社学同マル戦派と統一派の合同~12月全学連再建を決議・機関紙「赤光」)
- 9月19日ベトナム反戦大阪行動委員会—結成(機関紙「ベトナム通信」)
- 9月25日「先駆」第33号終刊
- 9月30~10月1日京都府学連第23回大会(委員長—松本 弘一・同志社大、社学同と中核派の対立)
- 9月×日革命的共産主義者同盟(全国委員会)第三回全国大会・政治局報告-本多延嘉
  - (田川和夫—政治局員・東京中西部地区委員長)
- 9月×日日本共産党山口県委員会(左派)—結成・機関誌・紙「革命戦士」「人民の星」
- 10月1日「国際新報」創刊号(国際新報社/中国派)
- 10月5日「戦旗」第76号(第六回大会報告)より再刊(「黎明」第75号より継続)
- 10月8日「共産主義」第8号(第六回大会報告)
- 10月8・9日全学連再建準備会結成大会(明治大学記念館)~12月全学連再建決議
- 10月11日北大阪反戦青年委員会—結成
  - (電通反戦行動委員会、ベトナム人民支援戦線、社青同北支部、他九団体)
- 10月13日日本共産党第七回中央委員会総会—西沢隆二・除名(中国派の除名多数)
- 10月15日「戦旗」第77号「十二月全学連再建へ—全学連再建大会とわれわれの任務」(共産同学対部)
- 10月15日「毛沢東思想研究」第1号「日中友好の流れはせきとめることはできない」(大塚有章)
- 10月15日「ベトナム戦争と反戦の原理」討論集会(東京・ベ平連—サルトル・ポーポワール来日)
- 10月21日ベトナム反戦国際反戦デー・開始-総評五十四単産、ベトナム反戦統一スト
- 10月24~30日日本共産党第10回大会—「自主独立」路線確立
- 11月15日「戦旗」第80号「11・27 佐藤内閣実力打倒に全力を！ベトナム侵略阻止・公共料金値上反対」
- 11月19日(財)旧東京学生会館館生大会(自治会委員長—畠山嘉克・社学同ML派支援)
- 12月9日大阪反戦青年委員会統一行動(中之島公会堂)
- 12月12~15日共産主義労働者党(共労党)—結成大会
  - 議長—内藤知周、書記長—いいたもも、白川真澄、樋口篤三、機関紙「統一」
- 12月15日**佐藤内閣打倒！労働者学生集会(東京・全電通会館)**
  - ・挨拶(松本礼二)
  - ・反帝闘争をプロレタリア日本革命へ(水沢史郎)
  - ・流動する政治情勢と日本階級闘争(飛鳥浩次郎)

・10-21 闘争と来春闘(赤崎次郎)  
・再建全学連の任務は何か(一向 健)

- 12月17~19日全学連再建全国大会(「三派全学連」~大田区民会館・明治大学記念館)  
\* 秋山勝行(中核派)/静岡大理学部(社会学同)/早稲田大I政経部(社会学同)/早稲田大I部政経部(水谷/中核派)/  
長崎社研(西村)/京都府学連(松本/社会学同)/早稲田大(大口/社会学同)/法政大経済・文学部/反戦高協/明治大全中闘(社会学同)  
早稲田大I部政経部(社会学同)/早稲田大(高橋/社会学同)/明治大(斎藤/社会学同)/同志社大(藤本/社会学同)/  
早稲田大I部政経部(藤井/社会学同)/横国大(川村)/横国大(山崎/ML派)/同志社大(蒲池/社会学同)/早稲田大I部政経部  
京大医学部(橋本/中核派) 委員長—斎藤克彦(明大)、副委員長—蒲池裕治(同大)、  
同一高橋幸吉(早大・社会学同)、書記長—秋山勝行(横国大・中核派)
- 12月15日『共産主義』第9号(「流動する政治情勢と日本階級闘争」政治局)

● 1967年

- 1月9日中国文化大革命—紅衛兵による劉小奇、鄧小平打倒大会(天安門広場)
- 1月20日明治大学(明大)学費値上げ大衆団交
- 1月22日社会主義労働者同盟(社労同)—結成総会(中村丈夫・  
機関誌『新左翼』『社労同通信』→『労働者権力』『新左翼』)
- 1月24日「赤旗」(日本共産党機関紙)~中国共産党批判
- 2月2日明大学費闘争の敗北~「二・二協定」調印~大混乱
- 2月5日「戦旗」第87号「裏切者、斎藤・大内の除名と明大闘争について」(共産同政治局)
- 2月13日「前進」第321号(「明大闘争勝利の道は何か」)
- 2月19日全学連(三派)中央執行委員会—斎藤委員長(明大)を罷免。委員長—秋山勝行、  
副委員長—成島忠夫・蒲池裕治、書記長—高橋幸吉
- 2月24日共産主義者同盟京大細胞—結成(機関紙「鉄鎖を砕け」復刊NO1)
- 2月26日砂川基地拡張阻止青学総決起集会(基地反対同盟、反戦青年委員会、社会党)  
(「この米侵略機をベトナムに送るな!」1500名、機動隊と激突)
- 2月28日沖繩闘争・三派全学連第一波闘争
- 2月28日善隣学生会館-闘争開始(日本共産党と日中友好協会(正統)本部との対立・  
華僑青年闘争委員会(華青闘)の結成)
- 3月×日「日中青学共闘会議結成に関する声明」社会学同(ML派)中央執行委員会
- 3月3・4日部落解放同盟第二十二回大会—委員長・浅田善之助
- 3月15日反戦青年委員会全国反戦運営委員会(三多摩反戦青年委員会の推進)
- 3月19日全関西ベトナム反戦関西討論集会(中ノ島中央公会堂・大阪軍縮協他)
- 4月15日(美濃部亮吉東京都知事—当選~全国に革新首長当選)
- 4月×日『戦士』臨時号
- 4月×日日本共産党(左派)神奈川県常任委員会—結成(安斎庫治、川島 豪)
- 4月×日共産主義学生同盟(共学同)—結成(旧共青同・社労同系)
- 5月14日阪神地区共産主義者協議会—結成(代表—長井一男・事務局長—清田祐一郎)  
(機関誌『斗いの旗』—杉本昭典・師岡佑行・後藤正彦・中谷聖征・松上辰之)
- 5月15日『烽火』号外(共産同関西地方委員会「労働運動の転換とわれわれの組織」)
- 5月28日砂川基地拡張阻止青学総決起集会(三派3000名、機動隊と激突48名逮捕)
- 5月24日パンフ『文化大革命と世界革命』(社会学同京大支部・石川 明=上野勝輝)
- 6月10日『共産主義』第10号(「砂川・小選挙区と七〇年安保への闘い」政治局)
- 6月×日『烽火』第2号(『プロレタリア独裁への道—我が同盟の緊急の任務について』)
- 6月9日砂川基地拡張阻止・ベトナム侵略反対統一行動(京都円園)
- 6月15日安保記念政治集会(講演・飛鳥浩次郎)
- 6月×日解放工作委員会(警鐘編集委員会の改組)—結成
- 6月×日日本社会党革命同志会—結成(機関誌『変革』)
- 7月12~14日全学連全国大会(三派)(委員長・秋山勝行、副委員長・成島忠夫、蒲池裕治)
- 7月13~16日全学連第二四回全国大会(革マル派系・委員長—成岡康治)
- 8月6日第二回全国青年学生反戦集会(広島)—反戦青年委員会2000名
- 8月×日社会主義協会第八回大会—分裂(太田 薫派、向坂逸郎派)
- 8月×日『烽火』第3号(「主張・日本帝国主義と70年安保」)
- 8月×日武装蜂起準備委員会(AIPC)—結成(第四インターナショナルBL派系—機関誌『プロレタリア軍団』)

- 9月15日機関紙「革命」第1号～(日本社会主義青年同盟全国学生班協議会解放派)
- 9月16-18日民青同第10回全国大会
- 9月16日マルクス主義学生同盟書記局通達「組織内部の日和見主義を一掃し羽田に総決起を」
- 9月22-23日京都府学連第二十四回大会(委員長—立崎好道・同志社大)
- 9月25日『烽火』第4号(「活動の新しい段階と我々の組織」)
- ×月×日革命的共産主義者同盟(全国委員会)第四回大会
- 10月4日全国自治会代表者会議(東京・大阪府学連・兵庫県学連)—全国自治会共同闘争会議
- 10月5日「戦旗」第111号「10・8地区反戦・全学連の総力を結集し羽田実力闘争を闘いぬこう」  
「70年安保から逃亡する社共、革命党の任務と観念左翼の混迷」(飛鳥浩次郎)
- 10月6日全学連(三派)佐藤訪ベトナム阻止統一集会(日比谷野音—  
中核派と社青同解放派の対立—社学同・社青同解放派・社学同ML派、全学連の分裂)
- 10月7日「強圧事件」—  
中核派の解放派—全学連書記長・高橋幸吉、書記局員・渡木 繁、東京都学連委員長・北村行夫の拉致・リンチ
- 10月8日佐藤訪ベトナム阻止第一次羽田闘争  
(午前八時、社学同・社青同解放派700名、高速道路・鈴ヶ森ランプ付近で機動隊の阻止線を  
実力突破。後、京大生山崎博昭君虐殺される。計75名逮捕)  
「…日本人民は『剣闘士と野獣の闘いを観覧するローマ市民』から、はじめて血と命をかけた  
諸国の人民と同資格を得た。国際的闘いは今や一つに固く結びつけられる基礎を獲得した。..  
学生諸君、よくやった。諸君の英雄的、自己犠牲的闘いは、日本だけでなく、世界の労働者と  
左派を勇気づけている」(『烽火』5号)
- 10月9日「前進」第354号「全学連・反戦委五千の闘い、世界を揺るがす」
- 10月10日「赤旗」第〇号—「今日の毛沢東路線と国際共産主義運動」(日中産党の対立激化)
- 10月13日故山崎君追悼・佐藤政府糾弾・ベトナム反戦大阪集会(扇町公園、2千名)  
(ベトナム反戦大阪実行委員会、全大阪反戦青年委員会)
- 10月15日「戦旗」第112号「10・8羽田闘争 佐藤訪ベトナム=侵略加担に巨大な打撃  
10・21 闘争を全大衆の反政府闘争へと発展させよ！」(共産同政治局)
- 10月15日「革命」第3号「世界を揺るがせた羽田、10月8日」(日本社青同全国学生班協議会解放派)
- 10月15日反帝医学生戦線—結成(社学同医学連委員会)
- 10月21日ベトナム反戦国際反戦デー
- 10月25日小野田襄二(今井重雄・革共同全国委員会政治局員・前学対部長)—離党
- 10月31日関西学院大学全共闘—結成
- 11月3日『烽火』第5号(「佐藤訪ベトナム訪米実力阻止闘争に対する  
共産主義者同盟関西地方委員会の基本態度」)
- 11月×日社会主義青年同盟全国学生協議会国際主義派(社青同国際主義派)—結成
- 11月9日10・8 救援会発足(水戸巖等)
- 11月11日油比忠之進(エスペランシスト)—ベトナム戦争抗議焼身自殺(首相官邸前)
- 11月12日佐藤訪米阻止・全国統一行動(日比谷野外音楽堂)全国反戦青年委員会五千名
- 11月12日第二次羽田闘争(347名逮捕)
- 11月13日ペ平連記者会見—米空母イントレピッド号から4名兵士脱走発表
- 11月15日「戦旗」第115号「ベトナム・安保を闘いぬく反帝統一戦線を発展させよ！」  
11・12 闘争の巨大な意義とわれわれの任務)
- 11月18日「戦士」2号(社学同関西地方委員会「エンタープライズ佐世保寄港実力阻止、  
脱走米兵実力防衛の闘いで、日米プロレタリア人民の国際主義を深め、  
70年安保政治決戦を闘い抜け！第3、第4の羽田闘争をつくり出して、  
破防法適用を粉碎せよ！<現代革命の教訓と70年安保闘争の展望>
- 11月×日全大阪五地区反戦共闘—結成(豊能、東淀川、東大阪、大東、浪速十八尾)
- 12月7日羽田・ベトナム・安保共産同大講演集会(東京・品川公会堂)  
・70年安保に向けて(飛鳥浩次郎)  
・砂川とベトナム(水沢史郎)
- 12月7日『羽田闘争 10・8→11・12 と共産主義者同盟』(戦旗社)
- 12月7日『烽火』第6号(11・12 第二次羽田闘争特集「現代帝国主義と70年安保(3)」)
- 12月13日社学同高校生委員会—結成(渋谷労政会館、委員長—高橋博史→大谷行雄～旧高校生会議)
- 12月16日大阪・沖縄連帯の会(デイゴの会)—結成(機関誌「デイゴの花」改称)

- 12月17日日本マルクス・レーニン主義運動—結成第一回全国大会(日共プロ革命派の改称)
- 12月17~19日全国反帝学生評議会(反帝学評)—結成(早大・議長—三井一征~社青同解放派系)
- 12月24日**関西地区反戦連絡会議の結成**  
 (議長・前田裕昭→和田千声→土方克彦、事務局長—清田裕一郎)  
 (大阪)北大阪反戦青年委員会、堺反戦青年委員会、吹田反戦青年委員会  
 高槻反戦青年委員会、  
 (兵庫)尼崎反戦青年委員会、西宮反戦青年委員会  
 (京都)洛北反戦青年委員会、落西反戦青年委員会、洛南反戦青年委員会  
 (和歌山)和歌山反戦青年委員会
- 12月×日『赤軍』第1号(共産同東京南部地区委員会)
- 12月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)関東同盟員総会・機関紙「第四インターナショナル」(1~7号)
- 12月29日革共同中核派関西地方委員会総会—本多書記長、関西地方委員会を不信任

## ● 1958年

- 1月17~19日原子力空母エンタープライズ寄港阻止闘争(佐世保)全学連(三派)1000名  
 前段・15日のアメリカ神戸領事館抗議闘争では、学生部隊を無傷で  
 出発させるため、大塚彰(電通)等、関西地区反戦の労働者達は最先頭で座り込み  
 大弾圧を一手に引き受ける。(労働者10名、学生2名逮捕)
- 1月16日反帝医学生戦線(社学同医学連委員会)関東ブロック総会(慶応大学)
- 1月×日『赤軍』第2号(共産同東京南部地区委員会)
- 1月×日「日本のこえ」—日本共産党(日本のこえ)改称
- 1月25日「戦旗」第122号「エンタープライズ闘争の総括と70年安保—安保体制実力突破・  
 佐藤政府実力打倒、全学連・反戦を全国的政治勢力へ」
- 1月30日『解放』第1号(共産主義者同盟中央大学細胞機関誌)  
 (「我々の世界革命戦略と組織論について—現代プロレタリア革命の立場—」一向 健)
- 1月31日『烽火』第7号(「日本労働者階級に対する共産主義者同盟の任務」)
- 2月×日『マルクス・レーニン主義』復刊1号(共産主義者同盟東大総細胞—旧マル戦派)
- 2月9日中央大学卒業式阻止!全学総決起集会(1万人)
- 2月19日『労働者もヘルメットをかぶった・佐世保7日間の戦いの記録』(関西地区反戦連絡会議)
- 2月26日三里塚空港建設阻止集会(三派全学連と反対同盟の共闘)
- 2月29日『烽火』第8号(「主張・同盟第七回大会と我々の課題」)
- 2月×日日本革命的共産主義者同盟(JR)全国代表者会議—再建  
 「三者協議会」~社会主義通信派+ML主義研究会+関東社会主義研究会
- 3月×日共産同関西地方委員会大会
- 3月×日日本共産党左派神奈川県委員会・結成  
 (旧解放工作委員会 委員長・小林赤彦、河田明、川島豪、河北三男)
- 3月3日毛沢東思想学院—開校(宝塚市・大塚有章・機関紙「毛沢東思想学院ニュース」)
- 3月7日70年安保粉碎・野戦・三里塚阻止!関西政治集会(大阪市立労働会館)  
 講演~共産同関西地方委員会議長・田原 芳  
 ・関西地区反戦連絡会議事務局長・清田祐一郎  
 ・全学連副委員長・蒲池裕治
- 3月8日王子野戦病院開設阻止第四波闘争
- 3月8日(株)平独社創設(「平和と独立」NO14, 15発行/日本共産党解放戦線)
- 3月10日三里塚空港建設阻止第一波全国闘争
- 3月12日第七回反戦青年委員会全国代表者会議
- 3月15日「戦旗」第127号「第七回大会で獲得すべきわれわれの政治路線はなにか」(さらぎ徳二)
- 3月17日成田空港設置粉碎3・10 闘争報告集会(関西地区反戦連絡会議)
- 3月×日『マルクス・レーニン主義』第2号(「共産主義者同盟に課せられた焦眉の課題」掲載)
- 3月24・25日**共産主義者同盟第七回大会(両国会会堂)世界同時革命を定式化~**  
 議長—佐伯 武、副議長・書記長—(空席)、佐々木和雄、松本礼二、さらぎ徳二、松村三郎、一向 健、  
 旭凡太郎、垂水俊介(学対部長)、杉田正夫(斎藤芳雄)—合計九名  
 「戦旗」編集局・野田 晋(岡野英夫)。大会二日目、旧マル戦派欠席  
 「大会報告」執筆、総括(一~四章)佐々木和雄、情勢(一~三章)仏 徳二、

### 任務(一～五章)佐伯 武

- 3月25日「戦旗」第128号「プロレタリア国際主義の旗をかかげ、無政府主義・解党主義を粉碎し、  
党建設の戦列をさらに強化・前進せよ！ 共産主義者同盟第七回大会とわれわれの任務」
- 3月27日**社学同全国大会(中大/マル戦派ボイコット—委員長—村田能則)**
- 3月28日『この土地と空を侵略の血でそめるな！』(北大阪反戦青年委員会)
- 3月〇日池内史郎(浜野哲夫・革共同関西地方委員会議長)—離党
- 4月×日**共産同労働者革命派準備委員会の結成(機関誌『労働者革命』)～旧マル戦派**  
(北田 肇・赤崎次郎・水沢史郎・飛鳥浩次郎・秋本道夫・杉本宗一)
- 4月15日山谷解放委員会—結成(委員長—日中友好協会政党本部山谷支部長梶 大介)
- 4月15日「戦旗」第130号「4・28国際反戦ストの昂揚で防衛庁包囲へ」
- 4月19日パネル・ディスカッション「国際反帝闘争と世界革命の展望」(同志社大学)  
(鶴嶋雪嶺・大田 竜・田原 芳・主催「同志社学生新聞」社)
- 4月22日「戦旗」号外「4・28政府中枢占拠へ！」
- 4月25日「戦旗」第131号「4・25、4・26、27、28 国際反戦・沖縄ゼネストで、  
侵略・抑圧・反革命と対決し防衛庁・政府中央権力をこうげきせよ！」
- 4月28日沖縄闘争デー(全学連三派・中央大学)
- 5月×日共産主義者同盟三多摩地区委員会—結成(委員長—中沢満正)
- 5月3日「世界革命」復刊1号(通刊第165号・革共同関東臨時ビューロー)
- 5月4日フランス、パリ大学ソルボンヌ分校閉鎖—5月革命開始
- 5月21日『烽火』第9号(「主張・再び『同盟第七回大会と我々の任務』」)
- 5月23日日本大学学生—2000名大衆団交要求デモ
- 5月24日**全大阪反戦集会(大阪駅前広場)**
- 5月25日「戦旗」第134号「5・26成田—6・7沖縄ASPAC闘争へ」
- 5月27日日大全共闘結成(秋田明大委員長)
- 5月×日**大阪府高校生連絡協議会(府高連)—結成(共産同系)**
- 5月×日「日本プロレタリア革命にむけて指導部のプチブル急進主義を弾劾する！ 10・8以降の  
基本路線の対立」(マル青同・教育労働者委大阪支部・竹中明夫＝小川 登)
- 6月1日『共産主義』第11号(第七回大会報告)
- 6月4日日大全共闘—全学統一大衆団交要求大集会(1万2千名)
- 6月15日『烽火』第10号(「主張・社会主義と我々の態度」)
- 6月15日6・15 記念・ベトナム反戦青年学生総決起集会(総評東京地評青年協議会・日比谷野音)  
—中核派、壇上占拠と革マル派激突・集会流会
- 6月15日ベトナム反戦全国行動大阪集会(御堂筋デモ、ベトナム反戦大阪行動実行委員会)
- 6月15日70年安保粉碎！ 共産同政治集会(品川公会堂・基調—佐伯 武)～北海道・東北・東海・岡山政治集会
- 6月16日70年安保粉碎！ 共産同関西政治集会(大手前国民会館、基調—田原 芳)
- 6月21日神田・御茶ノ水カルチャータン闘争
- 6月25日大阪大学豊中大講堂占拠(大阪大学学園闘争—開始)
- 6月28日米軍ジェット燃料輸送阻止闘争(三多摩)
- 6月28日アスパック粉碎関西学生統一行動(大阪御堂筋ゲバ棒武装デモ・社学同500名他)
- 7月2日レーニン主義者協議会—結成  
(川上 浩・松井透・清井礼司・高橋博史・機関誌『レーニン主義』～旧マル戦派分裂)
- 7月5日東大全学共闘会議—結成(議長—山本義隆)・安田講堂再占拠3千名結集。
- 7月5日「戦旗」第138号「6・28 大阪ASPAC第三波実力で御堂筋突破」
- 7月11～14日全学連第二五回全国大会(革マル派系・委員長—成岡康治)
- 7月13日大阪府学連再建大会(桃山大～委員長—西浦隆男・大阪市大、書記長—藤岡弘・大阪経済大)
- 7月14～16日全学連全国大会(中核派系委員長—秋山勝行)
- 7月15～17日全国反帝学評連合第二回全国大会(早稲田大学)
- 7月15日「戦旗」第139号「プロレタリア国際主義の下、全学連の革命的再編をかちとり、7・27三木訪豪阻止・8・3国際集会へ」
- 7月17日**社学同第八回全国大会(中央大、委員長—久保井拓三)**
- 7月19日反帝全学連結成大会(中大—社学同と反帝学評・社学同ML派對立、分裂)
- 7月21-22日**全学連第十九回全国大会(社学同系・中大会館)**  
(委員長—藤本敏夫(同志社大)・副委員長—久保井拓三(中大)・書記次長—村田恒有(東京医科歯科大))

- 7月20～21・22日全学連第十九回臨時全国大会（反帝学評・社会学同ML派系・委員長一空席）
- 7月×日福富健(共産同)大阪総評青年部副部長一就任。
- 7月10日『理論戦線』6号(復刊1号)―(社会学同全国委員会)
- 7月25～28日全学連(民青同系)第一九回全国大会―「正当防衛権」の行使、提唱
- 8月1日『叛旗』(共産主義者同盟三多摩地区委員会)創刊号
- 8月3日国際反戦集会―開催(東京・中央大学―共産同・社青同解放派・社会学同ML派・第四インター・社労同)
- 8月4日国際反戦関西集会の開催(大阪厚生年金会館千名)  
(日本共産党解放戦線、共産同関西地方委員会、社青同国際主義派、第四インター日本支部、社青同解放派、毛沢東思想学院、社会学同ML派、関西地区反戦連絡会議、電通労働運動研究会、ベトナム反戦行動委員会等々)
- 8月5日「戦旗」第141・142号「世界プロレタリア統一戦線・世界赤軍・世界党建設の第一歩を！」
- 8月5日安保粉砕・日帝打倒青年学生大政治集会(日比谷公会堂・基調―清水丈夫)
- 8月5日新聞「新左翼」第1号発刊(新左翼社、日本共産党解放戦線系～1976年「人民新聞」～)
- 8月17日新明和工業抗議集会(関西ベ平連、全大阪反戦青年委、ベトナム反戦行動委、全学連)
- 8月17・18日革命的共産主義者同盟革マル派第2回大会
- 8月25日「戦旗」第143号「先進国・後進国・「労働者国家」の全階級闘争を結合させ世界革命の巨波を！」
- 8月27日全国高校生10・21闘争実行委員会結成大会(東大)委員長―小川敏雄(大阪市岡高校)
- 8月×日前衛編集委員会(「前衛」派)・安保共闘―結成  
(水沢史郎・杉村宗一・秋本道夫・藤井竹明・飛鳥浩次郎・吉野通芳・岩田 弘)  
機関紙「前衛」(～1987年)～旧マル戦派分裂
- 8月×日『情況』(第一期)―創刊(古賀 暹・情況出版)
- 9月2日大阪府高連・反帝高評―大阪府立市岡高校・校長室バリケード占拠/校務分掌任命制度反対  
(全国高校闘争の激化)
- 9月7～8日医学連第一五回全国大会(東大安田講堂)  
東大七者連絡協議会(自治会中央委員会+全学大学院生協議会+東大寮連+東大職組  
+東大生協労組+生協理事会+好仁会労組～日本共産党系)―「あかつき行動隊」(東京都学連)
- 9月10日NATO・安保粉砕！関西政治集会(大阪市立労働会館)  
「チェコをめぐる情勢と世界革命」共産主義者同盟関西地方委員会議長・野崎 進
- 9月10日『チェコをめぐる情勢と世界革命』(共産同関西地方委員会・高見沢洋一)
- 9月10日市岡高校大衆団交(運動場)―11日校長、任命制度撤回を表明
- 9月20日「戦旗」第145号「全土の基地闘争の火を10・21防衛庁へ！日帝打倒・安保粉砕の大道を邁進せよ！」
- 9月28日労働者共産主義委員会―結成(北田 肇・赤崎次郎・川合一郎・泉 清二・成島忠夫・西陰 勲)  
機関誌・紙『共産主義革命』「怒濤」～旧マル戦派分裂
- 9月30日『烽火』第11号終刊(「主張・『世界同時革命』とは何か？」)
- 9月30日京都府学連第二十六回大会(委員長―矢谷暢一郎・同志社大学)
- 9月30日日大全共闘―大衆団交(1000人・両国講堂)
- 9月30日東京地区反戦連絡会議―結成(世話人代表―樋口圭之介、機関誌『反帝青年戦線』)  
福島平和(中核派)、高橋茂夫(共産同)、東間 徹(ML派)、柘植洋三(第四インター)、早瀬志郎(社労同)、  
矢馬 朔(共労党)、朝日健太郎(統社同)
- 9月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)全国代表者会議―全国指導部の再建
- 9月×日青年共産同盟―結成(機関誌『武装』「前衛」編集委員会系)
- 10月3・4日日本マルクス・レーニン主義者同盟(ML同盟)・学生解放戦線―結成  
旧社会学同ML派・機関誌・紙『マルクス・レーニン主義』「赤光」  
(議長―畠山嘉克、書記長―鈴木迪夫、渚 雪彦・今井 澄・豊浦 清)
- 10月4日関西夜間部学生自治会連合(関西夜学連)―結成(関大・同志社大・立命大・志賀大・大経大)
- 10月8日羽田闘争一周年・山崎博昭君追悼・集会(日比谷公園)4千7百名
- 10月10日「赤光」第54号「日本マルクス・レーニン主義者同盟(ML同盟)結成宣言」
- 10月11日「戦旗」第148号「10・21国際反戦スト、防衛庁へ！」
- 10月×日第10期・労働者学園(大阪)～69年2月
- 10月20日社会学同二十六名、防衛庁突入(全員逮捕)
- 10月21日国際反戦デー・防衛庁(共産同)、新宿(中核派、ML同盟・東京)、国会(解放派)  
御堂筋(大阪)～騒乱罪適用

- 10月30日『遠くまで行くんだ』—創刊(小野田襄二)
- 10月31日『理論戦線』第7号(SSL全国委理論合宿報告)
- 11月1日『戦旗』第154号「10・21安保第一波全国闘争への騒乱罪発動をはねのけ、  
11・7首相官邸突入へ全国総結集せよ！怒濤の進撃、防衛庁再突入へ」
- 11月6日社会主義学生同盟医学連委員会全国総会(明治大学)
- 11月7日沖縄集会(中央大学)—社学同・マル学同中核派・社青同解放派・第四インター～国会・首相官邸突入
- 11月16日東京大学民主化行動委員会—形成(日本共産党系)
- 11月22日全国学生総決起集会(東大本郷キャンパス)
- 11月30日70年安保粉碎・一月訪米阻止全関西政治集会(中小企業文化会館)  
講演—松本礼二、基調—野崎 進(関西地方委員会議長)
- 12月1日『共産主義』第12号(「日帝打倒・安保粉碎と当面する情勢 第四回中央委員会報告」)
- 12月6日『戦旗』第155号「共産主義青年同盟の建設に向けて」連載
- 12月6日共産主義学生戦線—結成(労働者共産主義委員会「怒濤」派系)
- 12月10～12日全学連臨時全国大会(中核派系・委員長—金山克巳)
- 12月13日中央大学全学中央闘争委員会(全中闘)—結成
- 12月13日『戦旗』第156号「プロレタリア党建設の飛躍で安保を」(佐伯 武)
- 12月×日**共産主義者同盟第八回大会(読売ランド)**  
議長—さらぎ徳二、副議長—佐伯 武(軍事委員長)、書記長—(佐々木和雄・獄中)、  
松本礼二(国際部)、田原 芳(労働運動対策部)、松村三郎(弾圧対策部)、  
田宮高麿(共青同委員長)、日向 翔(社学同委員長)、一向 健(東京都委員会)  
藤本敏夫(全学連)  
(綱領委員会・委員長—田原 芳、さらぎ徳二、日向 翔、三上 治、一向 健)
- 12月×日『根拠地』—創刊号(～20号70年・労働者政治委員会・高見圭司、樋口篤三、  
久坂文夫、石黒 忠、小寺山忠昭、寺岡 衛・現代思想社)
- 12月27日『戦旗』第158号「日帝打倒—安保粉碎・統一戦線の現段階」(共産同政治局)